

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 意見交換を行いました ～(株)百笑屋(糸島市)～
- ➔ 総合化事業計画認定証交付式を行いました
～ 株式会社春口農園 (八女市) ～
- ➔ 令和元年度「飼料用米多収日本一」にて
全国農業協同組合連合会会長賞を受賞 梅崎聖人さん(みやま市)
- ➔ 新型コロナウイルス感染症についての対策が講じられています

意見交換を行いました ～(株)百笑屋(糸島市)～

土が安全なら、そこで育った農産物は安全といえるのではないか。

(株)百笑屋(糸島市)

代表 表：松崎 治久
法人設立：平成27年10月
経営面積：27.8ha(自作地7.1ha、借入地20.7ha)
経営品目：米、麦、大豆、米・大豆加工品
構成員：役員3名、常時雇用4名、
パート年間延べ60名

- ・米はJA出荷・個人販売(直販・インターネット)
- ・麦は全量JA出荷
- ・大豆はJA出荷のほか、自社で加工販売(納豆)

(株)百笑屋の取り組み

《麦・大豆栽培》

現在、麦・大豆とも逆転播種(畝立て同時播種)という糸島地域独自の手法で栽培している。



《新規就農者の育成》

農の雇用事業を活用し、研修生を受け入れ、農作物栽培、経営以外に、大型特殊免許取得や土木作業(暗渠排水)の指導も行っている。

新規就農者が独立する際の支援として、当社が取得している中古農機販売の資格を活かし、安価な農業機械の販売を行っている。

《資源循環農業》

平成19年に養豚農家と当社を含めた耕種農家2戸で「百笑たい肥生産組合」を設立。「地域バイオマス利活用交付金」を活用し、平成20年3月、堆肥舎を整備し、有機堆肥による資源循環農業を行っている。

今後の展望

《麦・大豆の単収向上》

令和2年産麦から、天候不順でも大きな被害がなく安定栽培が可能な「部分浅耕一工程播種」に数名で試行的に取り組み、地域に広げたい。

《新規就農者の育成》

新規就農希望者には、農業次世代人材投資事業の経営開始型で最大5年間の交付があるが、なるべく早い段階で自立・独立できるよう、新規就農者を育成していくべきだと考える。

《資源循環農業》

新たに酪農家、養鶏農家が「百笑たい肥生産組合」に加入するため、新しい堆肥舎を整備したい。耕作放棄地2haに自然薯の作付けを計画中有る。

《6次化への取組み》

大豆加工品の新商品を増やし、加工施設の規模拡大を考えている。

(株)百笑屋の大豆は、全国的に認知度の高い「金山寺納豆」の材料にも使われている。



我が子に食べさせたいものを消費者へ！

総合化事業計画認定証交付式を行いました ～ 株式会社春口農園(八女市) ～

令和2年1月31日付けで、六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画が認定された、春口農園に認定証の交付を行いました。



春口農園の春口代表(中央)

春口農園は、選果作業に多くの近隣高齢者を雇用し、高齢者の雇用機会と生きがいの創出という点において、地域への貢献も極めて高い事業者です。

今後は、自社生産した青ねぎを利用した既存「カットねぎ」の販売に加え、新商品となる弁当、惣菜用の少量使い切りサイズの開発、製造、販売に取り組まれます。



春口農園のサイトはこちら

<https://www.haruguchi-farm.co.jp/index.html>



※「総合化事業計画」とは、農林漁業者等が地域の農林水産物の生産・加工及び販売を一体的に行う事業活動の計画です。国の認定を受ければ、様々な支援を受けられます。

農山漁村の6次産業化について(九州農政局HP)

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/syokuhin/rokuzika/index.html>



令和元年度「飼料用米多収日本一」にて 全国農業協同組合連合会会長賞を受賞 梅崎聖人さん(みやま市)

令和元年度「飼料用米多収日本一」の各受賞者が決定しました。

福岡県からは、みやま市の梅崎聖人さんが【地域の平均単収からの増収の部】で全国農業協同組合連合会会長賞を受賞しました。

梅崎さんは約1.9ha作付けしたミズホチカラの単収が、地域の平均単収と比べ319.6kgの増収と好成績を収めました。

地域農業のモデル的な農業者として、さらなるご活躍に期待が寄せられています。

令和元年度「飼料用米多収日本一」の受賞者の決定について(農林水産省HP)

http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kokumotu/200226.html

「飼料用米多収日本一」

飼料用米の生産に取り組まれる農家の生産技術の向上を図るため、農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会が平成28年度から開催。

飼料用米の単収向上について優れた取組を表彰することにより、その結果を広く紹介。

おめでとうございます！



新型コロナウイルス感染症についての対策が講じられています

農林水産省は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて、農林水産省一体となって対応するため、様々な対策を講じています。

新型コロナウイルス感染症について
(農林水産省HP)

<http://www.maff.go.jp/j/saigai/n.coronavirus/index.html>

スマートフォンの方は
こちらのQRコードから



引き続き、
感染症対策に
努めていただくよう、
お願いします。

農林漁業者や畜産関係の皆様等を対象とした各種支援策を掲載しているほか、新型コロナウイルス感染症が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドラインを掲載しています。

※ 食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる報告はありません